

注目の話題

「ECO EARTH」のエンジン・コンディショニング製品を全国展開 サンエLEMENTが“神の手”小山自動車で製品発表会を開催！

#ACE #ACF #サンエLEMENT #小山自動車



泉山 大（プロジェクトD）

2026.09.09



目次

[エンジンのコンディショニングを目的としたオイルフィルター](#)[小山自動車との技術交流で生まれたアーシング添加剤](#)[予防整備をベースとするエンジン・コンディショニング・システム](#)[小山自動車がテストし、ユーザーが認めたACF](#)

サンエLEMENT（石村秀雄社長、本社＝神奈川県川崎市）は、自動車関連製品の販売ブランド「ECO EARTH（エコアース）」からオイルコンディショニングフィルター「ECO EARTH ACF」（以下、

ACF) と、関連製品「ACE」の全国販売に先駆け、製品説明会を“神の手”を持つ自動車整備事業者として知られる小山自動車（小山明社長、広島県福山市）にて開催した。



商品説明会。左からサンエLEMENTのACF企画・開発担当の清水武志氏、代表取締役の石村秀雄氏、プラクティカル・ビジネス・コーチングADMR室長の高橋賢治氏

エンジンのコンディショニングを目的としたオイルフィルター

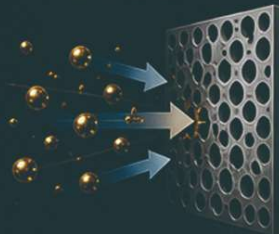
ACF（アクティブ・コンディショニング・フィルター）は、通常のろ過機能に加え、エンジンオイルのコンディション維持を目的に設計・開発されたオイルコンディショニングフィルター。従来のオイルフィルターはワニスやスラッジの発生後、これらをろ紙によってろ過する役割を担うが、ACFは固形粒子が生成される反応に働きかけ、これらの物質の増加を抑制するコンディショニング機能を併せ持つ、まったく新しい思想のもと開発された。

ACFはろ紙に設けた玉状のセラミック触媒が化学作用を起こすことで、界面活性剤の濃度を安定化。このため、エンジン作動中は常にセラミック効果を循環させ、良好なエンジンオイルの状態を保つことが可能となる。

ACFの4つの作用プロセス

01 吸着作用

劣化生成物を、
多孔質表面へ。



極性を持つ劣化物を多孔質表面に
捕捉し、反応に必要な局所環境を
つくります。

02 中和作用

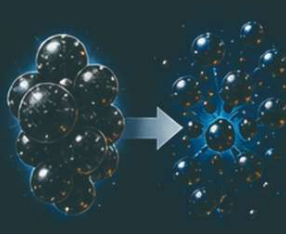
酸性物質の増加を
抑える。



Ca²⁺の働きにより酸性物質を
中和し、酸価上昇の抑制を
サポートします。

03 分散補助作用

不溶分を、集まりにくくする。



金属カルボキシレートの働きにより、
不溶分の凝集を抑制し、オイル中に
安定的に分散させます。

04 オイル環境の最適化

劣化の進行を抑え、
良い状態を維持。



吸着・中和・分散補助の複合的な
作用により、オイルコンディションの
維持をサポートします。

出典：ACF説明資料

新車からの機能保全に効果的だが、高年式車で効果がより高く、ユーザーからもドライブフィールの改善から、燃費改善効果まで「分かりやすい」との声が多いという。また、同社が所有する複数台の社用車で行ったACFの試験結果では平均で約20%の燃費改善がみられた。

サンエレメントの石村社長は、かつてNHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」に出演した小山自動車の予防整備の考えと整備技術に共鳴し、ろ過機能だけに留まらない予防整備を推進するフィルターの開発を模索する中、清水化学工業の特許技術（日本国特許第6008351号）と出会い、ACFの製品化を実現させた。



ACFカートリッジタイプ



ACFリプレースタイプ

小山自動車との技術交流で生まれたアーシング添加剤

その後、ACFが地域限定でテスト販売を行う中、小山自動車の小山兄弟がACFを偶然知ったことをきっかけに、サンエレメントと小山自動車で技術交流がスタートする。小山博久氏が「エンジンの振動や排気ガスの要因に、静電気が悪影響を及ぼしている可能性がある」との言葉をきっかけに、開発が進められてきたのがACEである。

アクティブ・クーラント・エフェクターの頭文字をとったACEはラジエーターの添加剤であり、特殊セラミック技術とエンジンの熱エネルギーを利用し、エンジン内部の電気抵抗を減らすことで、燃焼環境の安定化に貢献する。ACEはエンジン内の帯電を中和する機能を持つことから、アーシングと同等の効果を得ることができる。

ACE が整えるもの



電氣的ばらつきの抑制

燃焼に影響する電氣的な不均一性を低減します。



燃料噴霧の初期状態を安定化

噴霧の乱れを抑え、安定した初期状態をサポートします。



燃焼のばらつきを低減

燃焼のゆらぎを抑え、燃焼の安定性と再現性を向上させます。



エンジンの安定動作をサポート

再現性と安定性の向上に寄与し、エンジン本来の性能維持をサポートします。



体感されやすい変化



エンジン音の安定



トルクの出方が滑らか



アイドリング安定



排気の改善に寄与

ご使用にあたって

本製品は補助的に燃焼条件の安定化をサポートする製品です。車両の点検・整備とあわせてご使用ください。

なお、ACEは海外でも評価されており、中でもベトナムではMr.Rocketのブランドで一昨年から海外展開をスタート。ECONNECT TRADING JOINT STOCK COMPANY（エコネクト・トレーディング・ジョイントストック・カンパニー）からは累計1.5万本を販売している。

予防整備をベースとするエンジン・コンディショニング・システム

サンエレメントではエンジンオイルをコンディショニングするACFとエンジンの燃焼環境を整えるACEの2つのアイテムをエンジン・コンディショニング・システム（ECS）としてパッケージ化して展開していく構えである。「壊れてから修理を行う」のではなく、「見えない状態に目を向け、良い状態をできるだけ保つ」という予防整備の考え方で推進していく。

販売価格はオープン価格。適合車種、使用方法、交換時期および取扱店舗については、[サンエレメント](#)の公式ウェブサイトですら随時更新を行う。

小山自動車がテストし、ユーザーが認めたACF



製品説明会の後は前・日刊自動車新聞社社長の高橋賢二氏（右）をファシリテーターに、サンエレメントの石村社長（右から2人目）、そして小山自動車の小山明社長（左から2人目）と小山博久氏（左）を加えてトークセッションが開催された。小山自動車の信条とする予防整備の話題を中心に忖度なしのECS談義に花を咲かせた。

小山明社長は、ACFとの出会いについて、「雑誌に載っていたから、すぐテストさせてくれ」と電話したことを報告。小山博久氏は「うちのお客様にACFを試してみたら、結果がものすごく良かった。ACFは取り付けてすぐ体感できるものではなく、じわっと分かる。燃費が良くなったとユーザーに言われたことが一番有難かった」と述懐した。女性ユーザーの方がACFの結果に敏感で、「燃料満タンにするスパンが以前よりも長くなった」という声が多いのが特徴だという。

あわせて読みたい記事 種類を在庫し、車両の使用方法や走行距離によってエンジンオイルの油種を提案する小山自動車の予防整備にECSは重要なマストメニューとなっている。

注目の話題

【令和9年度概算要求】自動車整備業の人材確保・スキャンツール補助を拡充 国土交通省が予算案を公表

#スキャンツール補助 #人材確保・育成 #令和9年概算要求 #自動車検査登録のDX

2026.09.01

